

# 平成20年度第3回宮前区区民会議

平成20年度 第3回 宮前区区民会議

- 1 日 時 平成20年11月19日（水）午後6時
- 2 場 所 向丘出張所2階 大会議室
- 3 出席者
  - (1)委員 永野委員長、川西副委員長、宇賀神委員、河井委員、佐藤委員、鈴木（和）委員、高木委員、田邊委員、千葉委員、恒川委員、福本委員、松井委員、目代委員、吉岡委員、吉田委員、渡辺委員
  - (2)参与 石川参与、太田参与、織田参与、佐々木参与、山田参与、福田参与
  - (3)事務局 区長、副区長、企画課長、地域振興課主幹
- 4 議 題
  - (1)第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について（公開）
  - (2)各部会の審議状況について（公開）
    - 公園・地域づくり部会
    - 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会
  - (3)区民フォーラムについて（公開）
  - (4)平成21年度宮前区共同推進事業計画(案)及び区の課題解決事業（案）について
  - (5)その他（公開）
- 5 傍聴者数 4人

午後6時02分開会

司会（岩澤） 皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより平成20年度第3回宮前区区民会議を開催させていただきます。

本日の司会進行を務めさせていただきます宮前区役所副区長の岩澤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。恐縮ですが、ここで着席をさせていただきます。

それでは、会議に先立ちまして、定例ではございますけれども事務連絡をさせていただきますと存じます。

本日の会議開催に当たりまして、この会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただきます。したがって、傍聴者、報道機関等の取材を許可しておりますので、あらかじめご了承くださいと存じます。

また、会議録の作成に当たりましては、2名の速記者を同席させていただいております。そして、本日、発言等がございました方々につきまして、後日その内容について確認をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。なお、確認後の議事録につきましては、宮前区役所のホームページに掲載させていただきます。

また、本日の傍聴者の方々につきましては、入り口並びに壁に貼付してございます会議に係る遵守事項をお守りいただきたく存じます。また、会議に関するアンケートにつきましては、お帰りの際のご提出をあわせてお願いいたします。

次に、本日の委員、参与の方々のお出席状況でございます。事前に欠席される旨のご連絡をいただいております方は次のとおりでございます。区民会議委員につきましては、前田委員、川島委員、後藤委員、鈴木恵子委員でございます。参与につきましては、石田参与、飯田参与、矢沢参与、持田参与からご連絡をいただいております。なお、所用によりまして若干おくれるということで、織田参与から事前にご連絡をいただいておりますので、あわせてご報告をさせていただきます。

それでは、早々ですけれども、次に本日皆様のお手元に配付させていただいております資料の確認をさせていただきます。

まず、先頭の本日の会議次第、A4判1枚物でございます。

2枚目に、別紙としてA4判1枚で、第2期宮前区区民会議委員の委員並びに参与の名簿、別紙2としまして本日の区民会議の座席表がございます。

次に、議事の資料でございますけれども、右肩に資料1としてA3判1枚物で、第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況。

次に、資料2-1といたしましてA4判2枚物ですけれども、宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過。資料2-2としましてA3判1枚物で、宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論ペーパー。

次に、資料3-1としましてA4判2枚物で、宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過。資料3-2としまして、宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料、A3判1枚物です。資料3-3としてA3判1枚物で、宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 議論ペーパー。資料3-4としましてA3判2枚物で、宮前区の資源（宝物・顔の候補）、これは1枚目のみ両面刷りとなっております。

次に、資料4としましてA4判2枚物で、平成21年度宮前区協働推進事業計画（案）及び平成21年度宮前区・区の課題解決事業（案）、こちらも1枚目のみ両面のつづりとなっております。

このほかに、お手元に参考資料といたしまして、区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針素案 概要版、かわさき市民アンケート 概要版、季刊の防災ニュースを配付させていただいております。

なお、委員の方のみ、次回部会の開催日程についてという用紙を置かせていただいております。

以上が本日お手元にお配りしてある資料でございます。ご確認の上、不足、落丁等がございましたら挙手をお願いしたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、これより会議に入らせていただきます。

## 1 開 会

司会（岩澤） お手元の次第に従いまして会議を進めるわけでございますけれども、初めに会議の開催に当たりまして、区民会議の事務局を代表しまして区長の松下よりごあいさつを申し述べたいと思います。区長、よろしく申し上げます。

区長 皆さん、こんばんは。きょうは大変お忙しい中、第3回宮前区区民会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

第2回が8月6日にありまして、それから2カ月ちょっとたっているということで、この間、防災訓練あるいは区民祭等、大きな部分で言いますとそういうところで関係の皆様方にはご協力いただきまして大変ありがとうございました。

そういった中で、ここのところ選挙とかなんとかで落ちつかない日が続いておりますけれども、今回の区民会議では向丘出張所でやろうということです。第2期目に入りまして、区民会議を地域の皆さん、区の皆さんとの身近なものにしていきたいということで、委員の皆様のご同意を得ましてここでの開催という形になっております。

今後とも、区民会議を身近なものにしていくためにさまざまなアイデアとか手法を取り入れてやっていければと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。こうやって出張区民会議として、決まったところへ閉じこもるのではなくてこっちから出ていくというのは、多分7区の中でも宮前区が初めてではないかと思ひます。きょうの区民会議でございますけれども、2つの部会、それぞれ4回、5回と議論が重ねられておりまして、さまざまな意見が出ているかと思ひます。本日、そうした議論を委員の皆様方で共有して、より具体的に進化させていただければと思ひておりますので、よろしくお願ひします。

また、きょうは区役所から来年度の協働推進事業や区課題事業の計画案を後ほどご説明させていただきますが、これまでの区民会議からの提案を踏まえた事業も引き続き計画に盛り込んでおります。今後とも区民会議の審議状況、具体的な提案に対して区役所として事業立てをしていかなければいけないと思ひております。積極的に取り組んでいきたいと思ひておりますので、そちらのほうもよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、本日も皆様の積極的なご討議をお願ひしまして、簡単でございますけれども、冒頭のごあいさつにかえさせていただきます。よろしくお願ひします。

司会（岩澤） ありがとうございます。

それでは、ただいまからの議事進行につきましては永野委員長にお願ひしたいと思

います。委員長、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2 議 事

永野委員長 皆さん、こんばんは。秋が深まって紅葉前線が宮前の里山にもおりてきたなと思ったんですけれども、きょうは日本列島は寒波に覆われているということでございます。寒い中、お忙しい中を第3回宮前区区民会議にご出席いただきましてありがとうございます。

今、区長のお話にもありましたように、今までの区民会議は区役所の中で行ってきたんですけれども、より区民の皆さんに区民会議を知っていただくということで、外へ出て行って開催したらどうかという提案がありました。それで、今回初めての試みですけれども、この向丘出張所で開催することにいたしました。

ふだん、区役所まで来るには交通の不便がちょっとありますので、なかなか区役所に来にくいという方もきょうは傍聴に来ていただいているかなというふうに思います。この会議終了後、少し時間をとりまして、ご感想、ご意見などをお伺いする時間をとればよいなというふうに思っておりますので、最後までご出席いただいて、最後にご感想を述べていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

それでは、これから私が進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

### (1)第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

永野委員長 初めに、議事(1)区民会議からの提案に対する取組状況についてでございますけれども、事務局から説明をいただきたいと思っております。それでは事務局、よろしくお願い致します。

事務局(田邊) 企画課長の田邊でございます。私のほうから、資料1でございます「第1期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況」ということで、高齢者福祉と子育て支援と地域コミュニティについてご報告させていただきます。

また、地域防災につきましては地域振興課のほうからご報告をさせていただきたいと存じます。こちらの取り組み状況につきましては、前回開催されました8月6日の区民会議以降、新たに進捗等のあったものについて記載しているものでございます。

それでは、まず初めに18年度にご提案をいただきました高齢者福祉関係でございます。18年度、8つの項目につきましてご提案をいただきました。本日はそのうち5つの提案項目につきまして進捗がございましたので、ご報告させていただきます。

まず初めに、提案 ご近所サークルの形成でございますが、神木本町自治会におきまして、11月以降、神木本町お茶のみ会を開催することが決定いたしました。こちら

は、毎月第3水曜日の10時から11時30分、場所はフレンド神木1階フレンドリースペースということになっております。また、こちらの事業につきましては、区民会議員でもいらっしゃいます渡辺委員が携わっていると伺っておりますので、後ほどまたご紹介いただければと考えているところでございます。

また、9月25日には区内の8つの団体がすこやか連絡会を開催いたしまして、活動の交流と、例年開催しております合同研修会の検討を実施いたしました。その結果、平成21年1月26日に、テーマといたしまして「地域を守るネットワークづくり」ということでの合同研修会を予定しているところでございます。

続きまして、提案 地域ぐるみの散歩活動などの実施でございます。こちらにつきましては、実は5月から土橋地区で公園体操が開始されているということでございまして、これを把握ができておりまして、今まで区内で25カ所と申し上げておりましたけれども、現在26会場で実施されているという状況でございます。それから、犬蔵地区では新たに体操の実施希望がありまして、現在、地域包括支援センターと保健福祉センターにおきまして、その準備を進めているところでございます。

続きまして、提案 高齢者の学校給食体験の実施でございますが、こちらにつきましては8月末から65歳以上の方を対象といたしまして、それぞれの誕生日ごとに暮らしの「元気度チェック」という調査票を郵送しているところでございます。その返信の回答を待ちながら、10月以降随時、特定高齢者を把握しまして、介護予防事業につなげていくということでございます。誕生日ごとに調査票が送られますので、1年間かけてという形になっているものでございます。

続きまして、提案 団塊の世代による高齢者福祉のサポートでございますが、こちらにつきましては10月19日に開催されました区民祭におきまして、よろずシニア本舗の出張相談を実施いたしました。また、こちらの向丘出張所で11月26日から12月24日までの間の毎週水曜日の午前中によろずシニア本舗の出張相談を実施することになっているところでございます。

続きまして、提案 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守りでございます。こちらにつきましては、ひとり暮らし等高齢者の見守り事業の調査でございまして、宮前区に限らず全市の事業ということで新たな展開が始まったところでございまして、9月から11月にかけて、75歳以上の人だけで暮らしている世帯で介護保険サービスを受けていない人を対象に、生活状況などにつきまして、民生委員さんをお願いいたしまして、直接面談で聞き取り調査を実施しているところでございます。間もなく調査が終了すると伺っておりまして、宮前区での調査数は約4000名という状況でございます。

続きまして、右上のほうに参りまして、同じく18年度にご提案をいただきました子育て支援関係でございます。

提案 町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信でございますが、こちらにつきましては子育てかわら版を12月に配布する予定で現在準備中でございます。

続きまして、提案 赤ちゃん広場の拡充でございますが、こちらにつきましては宮前第4地区民生委員・児童委員協議会で子育て支援の場といたしまして、区社会福祉協議会及び区役所の支援のもと、すくすくけやき平を9月から開設いたしました。場所はグリーンハイツ集会所、毎月第1水曜日の10時から11時半ということでございまして、対象はけやき平、神木地区ということになっております。

続きまして、提案 子育て支援センターの拡充でございます。こちらにつきましては、父親の育児参加を目的といたしまして、年2回の土曜日開所、地域子育て支援センターのすがおとさぎぬまの2カ所で開催いたしております。第1回目につきましては9月27日に開催したところでございまして、大人197人、うち父親が60人と子ども166人の参加がございました。また、第2回目につきましては11月29日を予定しているところでございます。

続きまして、提案 子育て関連支援組織による協議会（ネットワーク）の立ち上げと運営でございます。こちらにつきましては、8月20日と10月8日に実務者会議を、また、9月6日に代表者会議を開催いたしまして、現在の取り組みや課題等について意見交換等を実施したところでございます。

続きまして、提案 地域などへの出前講座の実施でございますが、こちらにつきましては平成20年度親と子の子育て応援セミナーを9月4日から11月6日にかけて5回実施したところでございます。

続きまして、左下に参りまして、19年度にご提案をいただきました地域コミュニティ関係でございます。

提案 小学校区単位で地域の特徴を生かしたコミュニティ促進でございますが、こちらにつきましてはさぎぬま商店会との協働でオリジナルエコバッグ教室及びコンテストを実施しているところでございます。参加者が63名、延べ79名、出品点数72点ということでございまして、11月14日から11月28日まで、現在、さぎ沼とうきゅうの東側の階段部分にこの作品を展示いたしまして、人気投票を実施しているところでございますので、ぜひごらんいただきまして、投票していただければと考えております。また、この結果を11月29日にカッパーク鷺沼で開催予定のカッパーク鷺沼秋まつりで発表いたしまして、表彰を行う予定でございます。

続きまして、地域安全マップづくりでございますが、こちらにつきましては西有馬小学校区で11月29日、また、平小学校区で12月3日と12月12日の2日間を実施予定ということになってございます。

続きまして、提案 地域のたまり場の創出でございます。こちらにつきましては、

平成21年度の区課題事業でもございます商店街と連携した地域コミュニティ促進事業におきまして、商店街における地域のたまり場を創出する方向で調整中でありまして、商店街の中にあります空き店舗、会議スペース、集会スペースを活用したたまり場の創出に向けて、現在準備を始めているところでございます。また、先ほどもご紹介いたしましたけれども、神木本町お茶のみ会が開催されて、一つのたまり場になっているということでございます。

続きまして、提案 地域のつなぎ手の育成でございますが、こちらにつきましてはシニア世代を対象といたしまして、地域コーディネートを学ぶ講座ということで、来年1月から3月にかけて講習会を実施することが決定いたしました。12月の市政だよりで募集する運びとなっているところでございます。

続きまして、地域防災関係につきましては地域振興課のほうからご報告させていただきます。

事務局（小松） 地域振興課の小松と申します。よろしくお願いたします。恐縮ですが、座ったままご説明させていただきます。

まず、平成19年度に提案していただきました提案（仮称）宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成についてでございますが、現在、まちづくり協議会のほうで既に発行されている防災ニュース、31号になるかと思っておりますが、これをベースといたしまして、まちづくり協議会と協働いたしまして、8月28日に季刊防災ニュース第1号、皆様方のお手元にあるかと思っておりますが、このオレンジ色のものを発行させていただいております。これにつきましては7000部ほど用意いたしまして、郵送ないしは職員が出向きまして、各町内会さんのほうで回覧していただくようなことをお願いしております。現在、この防災ニュースにつきましては四半期ごとに発行ということで、現在、第2号につきましては、12月の発行に向けましてまちづくり協議会と編集中でございます。

続きまして、防災対策資料についてでございますが、12月をめどに防災フェア 後ほど説明させていただきますが、何らかの形で、防災フェア等で配布できるような形で、年内にはつくっていただければなというところで考えております。

防災フェアにつきましては、これもまちづくり協議会に委託しておりまして、その内容につきましては現在調整中でございます。基本的には、自主防災組織を初め、広く区民を対象といたしまして、実施時期につきましては、防災とボランティアの週間にあわせまして、平成21年1月20日に実施するということが既に決まっております。実施内容につきましては、家屋の耐震化の促進、家具等の転倒防止器具や防災資機材の展示・紹介、宮前消防署によりまして市民救命士講習や外部の方をお招きいたしましての防災講習会などを考えております。現在、それぞれの機関と調整中でございます。実施場所につきましては、宮前市民館ということで考えております。



続きまして、ホームページについてですが、防災だけではなく、防犯、交通安全など、安全・安心のまちづくりということで、10月から区のホームページに掲載させていただいております。

続きまして、提案 防災出前講座の拡充についてでございますが、これにつきましては比較的若い世代の方を対象に防災出前講座の周知を図っていくというようなところを目的といたしまして、カンガルー子育てねっとわーくに依頼いたしまして、9月1日が防災の日ですので、カンガルー通信9月号に「災害に備える」と題しまして防災出前講座に関する記事を掲載していただきました。また、赤ちゃん広場、保育園長会、子ども安全・安心協議会等に職員が出向きまして、防災出前講座の広報を行ったところでございます。今後さらに、何らかの形で若い世代のお母さん方を対象といたしました広報を続けてまいりたいと考えております。

続きまして、提案（仮称）宮前区防災推進員の育成についてでございますが、これにつきましては当初10月から3回程度研修を行う予定であったのですが、実施が延びておりまして、現在、研修を委託予定の研修機関と研修内容、実施日について調整を行っているところでございます。また、宮前防災推進員の実施に当たりましては、要綱を作成いたしまして これにつきましては現在作成中でありまして、自主防災組織と協議の上、自主防災組織から防災推進員の方を推薦いただきまして、年内に2日程度の研修を実施するよう考えております。現在のスケジュールですが、11月末までに要綱の作成、12月中旬までに研修内容、日程等を決定いたしまして、募集いたしまして、1月下旬から2月初旬にかけて研修会を実施するよう考えております。第1回の今年度の研修の対象人員についてですが、自主防災組織は76団体あるということから、半分程度の40団体を考えております。

永野委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして何かご意見はございますでしょうか。また、地域などでの取り組みのご紹介もよろしくをお願いします。

渡辺委員 神木本町自治会顧問の渡辺良雄と申します。先ほど企画課長からお話ございました神木本町お茶のみ会でございますけれども、たまたま今日、第1回目を行いました。

本年6月からなかよし体操というのを始めておりまして、10人から20の方が集まって、毎週水曜日9時半から10時まで、やっております。それを続けているうちに、30分でさようならというのも何となく寂しいという声がありました。また地域包括支援センターの勧めもいただいたものですから、特別養護老人ホームフレンド神木の会議室をお借りして、毎月第3水曜日ということで始めました。きょうは新しい人も加わり20の方が参加致しました。民生委員の方がお茶を用意したりお菓子を買ったりということで、会費は1人100円でやっております。

皆さんのお話を伺っていると、それぞれ問題を抱えておりまして、地域包括支援センターの方も入っていただいておりますので、高齢者福祉の問題についていろいろ相談にも乗っていただけるということで、非常に充実したお茶のみ会ではなかったかと思っております。

また、地域包括支援センターの中でケア会議を1カ月置きにやっているんですが、そこで災害時の要援護者に対する対応なども議論しております。ただ、なかなかまだいい案が出ていない現状でして、きょうご出席のみなさんは比較的昼間いらっしゃる方々なものですから、ぜひ体操で体を鍛えておいていただいて、いざというときには要援護者の支援に回るようなこともぜひお願いしたいと申しとおきました。やはり昼間若い方たちはほとんど出払っているので、我々が頑張らないと要援護者の支援もできないというお話をしまして、皆さん同感ということで、これからの進展が期待できるかなと思っている次第でございます。

永野委員長 ありがとうございます。神木本町でのお茶のみ会、それから公園体操、そういうことが各地域で行われてきているということです。

きょうご報告いただいているのは、前回の区民会議以降にできたものが中心になっておりますけれども、地域のことをいろいろお願いします。

目代委員 防災出前講座のことでちょっとお聞きしたいと思ひまして、よろしいでしょうか。赤ちゃん広場とか保育園、そういうところに出前講座に出たいという思いがあると思うんですけれども、この赤ちゃん広場とかは小さいお子さん連れの会場なんですけれども、どういう内容で、時間とかをどういうふうに考えていらっしゃるのかというのが大体つかめると、私もいろんなところにお誘いができるんですけれども、ちょっとお話しただけですか。

事務局（小松） ありがとうございます。

防災出前講座につきましては、川崎市の危機管理室のほうで行っておりまして、ある程度の人数、20名程度が集まっていれば、質疑応答を含めまして1時間ぐらいで、皆様方のお時間に合わせ、また、内容につきましても事前に、手続的には簡単なもので、ファクスで申込書に第1志望、第2志望という形で日程を書いていただければ、危機管理室のほうから電話をさせていただきますして、お話しする内容についてもご相談の上、決定させていただきますしてあります。時間的にも、夜でも日曜日でも土曜日でも、フレキシブルに考えておりますので、危機管理室のほうで行事が重なったとき等はちょっとまたご相談させていただくこととなりますが、極力皆様方のご要望の形で実施するようにしております。

目代委員 ありがとうございます。では、臨機応変にこちらの要望を伝えて、行っていただけるということでよろしいでしょうか。

事務局（小松） そういうことでございます。よろしくお願ひいたします。

鈴木（和）委員 出前講座のことで伺います。文化団体にも来ていただけるのでしょうか。

事務局（小松） 特に制限としましては宗教的だとか営利を目的としたものについてはできませんが、赤ちゃん広場にも広報していますように、基本的にどのような団体でも、ある程度20名とか集まっていたいただければ行きますので、その辺は大丈夫でございます。機関でも大丈夫です。

鈴木（和） 観光協会から委員として出席しております。鈴木です。後ほど観光協会についてお話をさせていただきます。

永野委員長 出前講座は、簡単に申し込めば1時間程度の内容でやっていただけるということです。やはり地域の町会・自治会が中心になってそういうことを開催することが多いかと思しますので、ぜひ町会・自治会の方は積極的に広報をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

渡辺委員 宮前区防災推進員の育成について、私は地域防災部会の部会長をやっていたものですからお願いなんですけれども、当時、小林委員長が、第1期の区民会議員は全員防災推進員になりましょうと呼びかけがございましたので、ぜひ研修対象者に入れておいていただきたいと思います。小林委員長は200人ぐらいの規模の防災推進員をつくらなきゃいけないというふうにおっしゃっていましたので、少しでもその数に近づけるように頑張っていたいただければと思います。よろしく申し上げます。

永野委員長 そうですね。顔の見える範囲で防災については共助を行っていくために、大勢の防災推進員をつくって、地域のコミュニティの中でやっていこうという話ですので、町会・自治会だけ、自主防災組織だけをお願いするのではなくて、この区民会議の卒業生とか現役も含めて推進員になっていただきたいと思っています。

先日の企画会議で、例えばシニア本舗の出張相談がやられているということなんです。その内容についてどういう系統の質問が多いかというようなことが明らかにできないかということ。それから、市営住宅の75歳以上の介護保険サービスを受けていない人の対象をまた民生委員の方々に依頼して、聞き取り調査をお願いしているわけなんですけれども、何でもかんでも民生委員にお任せしっ放しということではなくて、それを地域の中へどう生かしていくかという課題があるんじゃないかという話もありました。

恒川さん、シニアの相談の何かはございませんか。

恒川委員 シニア本舗、いろんな方がよく見えて、一番多いのはいわゆる高齢者の愚痴というんでしょうか。それから、福祉に関する財産の問題だとか、そういうようなものが主体かなと思っています。まさにこの区民会議と同じように、いかに認知度を上げていくかということが大事なのかなと。

それからもう1つ、区役所で思うことは、当初のころと比べて高齢者が区役所に来

るのが減ってきているかなというのをちょっと最近気にしています。何で出てこないのかなと。最初、シニア本舗を始めたころは、よく散歩がてらの人なんかを含めて、結構高齢者が区役所へ来ていた。ところが、最近、10時を過ぎてもなかなか人が来ない。閑散としているなというのを実感として受けとめています。だから、やはりそういう意味ではもうちょっと区役所に足を向けるような仕掛けというものが今後のシニア本舗の一つの課題ではないのかなとも思っております。

永野委員長 ありがとうございます。

福本委員 先ほど神木町内のほうからお茶のみ会という話があったんですけども、私もでもお茶飲み会を現在12年続けております。最初のうちはかなりの人が入ったんですけども、現在、だんだん減ってくるんです。それは結局、会がマンネリ化しちゃって、お茶飲みで終わるといふあれなんです。そこで、うちのほうでは約7年ぐらい前から手づくり、お茶菓子は絶対買わない、買ったものは一切出さないというふうにして、ジャガイモの収穫の時期にはジャガイモを塩ゆでにするとか、サツマイモを出すとか、いろいろと試行錯誤して、その時期のものを出すというふうにしております。それで結構楽しいんです。そのアトラクションとして、手工芸です。近所に竹林がたくさんあるので、そこから竹を何本かもらってきて、切って、カエルをつくってみたりね。一応組み立ては本人にさせるようにして、その材料の提供をしたり、切り花とかいろいろなことをやっております。そうすると、結構人もふえてきていますので、やっぱりお茶飲み会をやるのにはいかに長くするかということは、その時期、時期に合わせてやるほうがいいと思います。

やはりお茶菓子を買うということ、ありきたりのもので、それから、特に高齢者の集まりで食事に出すのにスーパーに行って弁当を買ってきて出す。あんな冷たくなって、練り物ばかり出したって喜ばないわけですよ。まず一番最初に必要なのは、自分のところでボランティアを育てるということ。そうすると、現在私どもでは17名のボランティアがおって、必ず1カ月置きに食事会もやるんですけども、全部手づくりです。漬け物から何から全部手づくり。ですから、できたものは一切出しません。そうすると、結構みんな喜んで、次に来る人も、この間はこういうものが出たんだといって、今度は来月の12月にまた食事会があるんですけども、12月は何が出るのと楽しみにして来てくれるんです。

ですから、大変ですけども、もう少しいろいろと研究してやると長続きすると思います。

永野委員長 ありがとうございます。お茶飲み会、それから地域コミュニティの中で、提案 にあります地域のたまり場、こういったものが地域の中でどんどんできてくるといいと思います。手づくりのものを持ち寄ってやっていると、それがまたコミュニティにもつながりますし、高齢者福祉にもつながっていくのだらうと思います。

川西副委員長 きょうはちょっと風邪でお休みしていらっしゃる、この委員であります鈴木恵子さんがやっていたら、全国的に有名になりましたが、去年読売新聞ですっと連載されていたものが本になりました。「つながる」ということで、これは日本全国のいろいろ優秀な先進的な試みの事例が出ているものです。

来年になりましたら、日本の中でこういう近所でいかにコミュニティをつくっていくかという研究発表があって、そこにも鈴木恵子さんはお出になって事例発表をされると思いますけれども、今お話があったように、福本委員がおっしゃったように、新たな企画を生み出していかなければ継続していかないんですね。だから、この本をちょっとお返ししますので、ご興味がおありになる方は目をとめて、また本のご購入もされて、勉強をすることが大事なかなと思いますので、ご紹介させていただきます。

永野委員長 ありがとうございます。そのほかはよろしいですか。

区民会議からの提案に対する取り組み状況につきましては、今後ともこの区民会議の場で確認をしていきたいと思っておりますので、地域の取り組みについても、委員の皆さんの把握しているものについてご紹介をいただければと思います。

それでは、次に移りたいと思います。

## (2)各部会の審議状況について

永野委員長 議事(2)各部会の審議状況でございます。

### ア 公園・地域づくり部会

永野委員長 初めに、公園・地域づくり部会から報告をお願いいたします。では、田邊部会長、よろしくをお願いいたします。

田邊委員 それでは、私から公園・地域づくり部会の審議状況についてご報告いたします。恐れ入ります。座らせていただきます。

それでは、資料2-1をごらんください。

公園・地域づくり部会は8月に行われた第2回区民会議以降、全部で3回会議を開催いたしました。それぞれの会議での議論内容について簡単にご説明いたします。

9月12日に行われました第3回部会では、公園や地域コミュニティに関する状況と理想とする公園像について審議いたしました。

公園や地域コミュニティに関する状況については、資料2-2、議論ペーパーの左側、公園・地域に関する現状に記述してあるとおりの内容となっております。時間が限られておりますので、主なものだけ説明させていただきます。

区内には190の公園緑地がありますが、ここ数年来苦情が非常にふえてきている状況でもあります。また、街区公園など地域に根差した公園緑地の維持管理は地域が主体となって維持管理を行っていくことが市の方針としてあり、そのための具体的な施策

として愛護会や公園緑地協議会などがあります。なお、宮前区では9月現在で合計129カ所でこうした管理運営活動が行われております。さらに、公園は地域のレクリエーションや憩いの場として多様な機能を持つ可能性にあふれた施設であるということなどが部会の中で確認されました。

次に、資料2に戻っていただきまして、理想とする公園像については、本来あるべき公園の姿と現状とのギャップをつまびらかにすることで解決課題を明らかにすることを目的に検討を行いました。具体的には、望ましい施設、維持管理のあり方、地域での使われ方と分けて議論しましたが、当日はなかなか結論が煮詰まらず、お手本となるような活動をしている団体から実際に話を聞いた上で議論を深めていくような方法をとりました。

続きまして、10月10日に行われた第4回部会で、関係者として鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会と町田市につくし野「公園あそび応援隊」の方においでいただき、活動内容をお伺いいたしました。

鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会の方にお話をいただいた主な内容としては、自治会と老人会で組織されていること。これまでの主な活動内容は、除草清掃、花壇づくり、落書き消し、これはタコの形をしたものがありまして、そこに落書きをされたような状況もあるそうです。それと、餅つき大会などを行っているということです。また、メンバーの固定化、高齢化が課題となっていることなどがありました。

また、つくし野の公園あそび応援隊の方にお話をいただいた主な内容としては、自治会としての活動ではなく近隣住民の有志による活動であること。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人、やれる人がかかわっていることなどが持続できているポイントであることなどです。これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操、防犯パトロール、公園見守りなどを行っているということです。それと、防犯パトロールや公園見守りは学校と連携して実施しており、保護者も活動に積極的に参加していただいているということなどがありました。

いずれの団体も非常に熱心に活動されていらっしゃるのわかりました。また、地域性というものも活動内容に少なからず影響を与えているとわかりました。次回の部会では、この日の内容を踏まえて、さらに理想とする公園像を議論することになりました。

次に、10月27日に行われました第5回部会では、前回の第4回部会でお伺いした話をもとに、理想とする公園像と解決すべき課題について議論を行いました。恐れ入りますが、資料2-2の議論ペーパーを再度見ていただきまして、議論の結果、理想とする公園像として次のものを提起しました。

望ましい施設としては、トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などが挙げられたのですが、地域のニーズや実情によって異なりますので、部会としてはこういう施設があ

れば理想的だよと決めつけないことにいたしました。

そして、維持管理・運営のあり方としては、地域の多様な世代ができる範囲で無理なく主体的に維持管理にかかわっている。あるいは、公園利用者みずからが自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営にかかわることができるような状態が理想的ではないかと考えました。

さらに、地域での使われ方ですが、地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている。また、ふだんから子どもからお年寄りまで多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができているというような状態が理想的ではないかと考えます。

こうした理想とする公園像と、左にある現状を比べた結果、明らかになったものが解決すべき課題です。

維持管理については、活動にかかわる人が少ない。参加者の固定化、高齢化が見られるというようなことです。それと、公園緑地管理運営協議会が存在、役割とも、地域に余り知られていない。あるいは、自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割を内部の人にも知られていない。これは自治会・町内会等のことです。そういった課題があらうかと思えます。

また、公園利用の面からは、公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向があるとの見方もございます。公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。あるいは、ごみやたばこ、ペットなど、利用者のマナーがよくないといったことが解決すべき課題ではなかろうかと思えます。

以上のように解決すべき課題を議論しましたが、第5回部会では、この課題を踏まえてさらに課題解決策のイメージを話し合うことができました。

それでは、またもう一度、恐れ入りますが資料2-1にお戻りいただきまして、一番下の具体的な課題解決策（イメージ）の部分ですが、公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、それと公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立。既存組織の刷新といいますか、今まであるような形の協議会ではなく、別途の形の方法をつくり上げていったらどうかということです。それと、公園からのまちづくりの必要性をアピールしようといった意見が出されました。

次回以降の部会では、きょうの全体会での皆様からのご意見を踏まえた上で、こうしたイメージをより具体的にしていく作業に入りたいと考えております。

以上で公園・地域づくり部会の報告を終わります。ありがとうございました。

永野委員長 ありがとうございました。

ただいまの公園・地域づくり部会からの報告について、何かご意見ございますでしょうか。公園部会の方で補足とか、そういったものがあれば。

5回にわたり部会を重ねてまいりました。そして、途中4回目には鷲ヶ峰公園緑地管理運営協議会とつくし野「公園あそび応援隊」という事例報告をいただいて、他地区の公園がどういうふうに使われているかということも検討いたしました。

そして、資料2-2にあります理想とする公園像、望ましい施設、それから維持管理・運営のあり方、地域の多様な世代が使えるというようなことが大事じゃないか。それから、公園利用者みずからが自主的に公園の維持管理であるとか使用方法のルールづくりに参加できることがいいんじゃないかということですね。それから、コミュニティ面ではやはり多世代が集まれる、地域の交流が図れるようなことがいいんじゃないかということが出ました。

そして、解決すべき課題として、一部の人しか公園にかかわっていないよというようなことですね。それから、公園緑地管理運営協議会の存在自体が地域に知られていないということ。自主的な公園利用のルールづくりといったことを、本来は公園緑地管理運営協議会がやっていくべきなのですけども、協議会自体の人たちもそういった認識が少ないし、一般の地域にもそういったことがわかっていないということ。それから、公園利用についてはやはり特定の人しか利用していない傾向がある。それから情報発信ですね。公園のコミュニティの情報発信を、もう少し掲示板なりをやって、公園から地域に対して大いに情報発信をしていったらいいのではないかという意見が出ました。また、利用者のマナーはどの公園でもそうですけれども、この辺をどうしたらいいのかというようなことがあります。

何か補足とかはありますか。

高木委員 課題解決策（イメージ）のところに、維持管理の組織だけではなくて企画を行う組織を新しくつくったらどうかという提案があったんですが、これは例えばコーディネーター育成とか、その辺を絡めてお考えなのかどうかというのをちょっと聞きたいなと思ったんです。

田邊委員 私たちだけで、区民会議で強制的にこういうような形で云々というのではなく、幅広く皆さんから意見を聞いて、極端な言い方をすると、小学校の生徒さんとか、ないしは各自治会の方々にお聞きした上で、いろんな形でのものをつくり上げていけばよろしいんじゃないかという考えも持っております。

川西副委員長 今のお話に少し補足いたします。

今ある公園のお話をすると、みんな、すごく詰まらない、楽しいことが何一つ浮かんでこない。ないない尽くしで、あれもやってはいけない、これもやってはいけない、人はいない、危ない、みんな「ない」がつくんです。それを今回のこの公園・地域づくり部会は、緑地の管理という観点から、もっとまちづくりの拠点になって、みんなでそこで楽しもうというようなスペースにしましょうという楽しいことがイメージできるような空間、あるいは地域資源にしていくことが大事で、それをする人たち



は一般の一番公園を利用しやすい地域の方たちに何とかそこにお集まりいただくような仕掛けを地元の人力でやっていただくように、現状の既存組織を組みかえしたりというようなイメージを持っています。

それで、ここに今ご質問があった企画を行うというのは、部会長がおっしゃったとおり、そこで例えばお芋を焼いたりとか、いろんなことが本当はできるんです。ただ、そのできるということをだれも余りご存じないし、どういうふうにしたらできるかということも皆さん知らないので、できるだけそのような企画をたくさん行うことによって、皆さんの公園に対する愛着であるとか、そういうことをもっとふやしていく。

後でも宝さがし部会とも関係するかと思いますが、宮前区の公園の数は7区のうちで2番目なんです。ですから、このたくさんある公園で本当に区民が生き生きと日常的に楽しんでいるというのは、ひょっとしたら大きな宝になるかもしれない。そういう潜在的な力を持っているので、できればそういう方向性につなげていきたいということで議論してまいりました。

鈴木(和)委員 提案ですけれど、後ほど参加者の方から各自治会において実行なされております、公園等の御意見、お話を伺いたいと思います。向丘の自治会長さんもお出席されてますので、よろしく願いいたします。

永野委員長 ありがとうございます。では、この会議が終わりましたら、きょうご出席いただいています自治会長さんあたりに、うちの近くの公園ではこういうことをやっているよというご意見もいただきたいと思います。

そのほかございませんか。

福本委員 公園の遊具の維持管理です。やっぱり老朽化に伴って事故は起きる。その事故が起きたときにどこが窓口になって、それを解決していくか。そういう問題はこれからどんどん起きると思うんです。その場になってばたばたして責任がどこにあるとか維持管理、そういう問題をできるだけ早いうちに決めて、やっておくほうが将来いいんじゃないかと思うんです。これはなければ幸いですけれども、新しい遊具であってもやはり、ないということはいえないんですよね。

それで、最近の親というのは子どもを遊びに連れてきておっても、自分は自分で、親同士で何かやっているの、実際的に子どもをきちっと監視していないんですよ。ですから、そういうこともやはり事故の原因になるんですけれどもね。それとまた、遊具が古くなって、さびて、そこでけがをしたり、いろいろそういう問題があるので、問題が起きたときにどこが対処していくときちっとしておいたほうがいいと思います。

田邊委員 恐れ入ります。今の件についてですが、実際管理していただいているのは西部公園事務所です。それで、危険度といいますが、常日ごろの協議会ないしはどなたか

と公園管理事務所との、コミュニケーションという大げさかもわかりませんが、情報交換をやっておきながら、危険度の多いものについては公園事務所ではできるだけ対応していただいています。それができないような場合は別の方法を直接お話しになってもいいかと私は思っております。

永野委員長 今の件ですけれども、管理運営のことは西部公園事務所とか、公園事務所がやっているんですが、やはりちょっと遠いんですね。だから、公園を使う特に若いお母さんとか子どもたちについては、いろんなことをやりたいときに、あれをやってはいけない、これをやってはいけないという看板が出る。そうすると、何もできないなという感じがある。そういったときに、気軽に相談できるように、公園事務所をもう少し区の中へ統合しようと思直し中だという話を聞いております。身近な区と連携してできるような公園事務所にしていったらいいなと思います。

それから、先ほど町会・自治会で焼き芋を焼いたり、街路樹清掃の後、それを燃やすというような話、これが、一般の公園で火を使ってはいけないということはみんなに知れわたっていて、なかなかできないんです。ただ、町会・自治会だとか子ども会といった責任ある団体が、火災についてもちゃんと責任を持ってやれば、それは何とかなるんじゃないかという話も聞こえてきます。その辺のことももう少し、公園事務所を区の中へ統合して行って、身近なところで相談できながらやっていけたらいいなという話が出ています。

松井委員 先ほどのお話の中で川西さんもおっしゃっていましたが、公園部会ということで始まったんですけれども、地域づくり部会というところまで入れて、公園を地域の拠点の一つとして上手に活用しながら、さらにまちを見詰める。特に僕は感じるんですけれども、やっぱり公園だけで何かというと、議論の深まりに限度があるのかなというふうに思うんです。もっと地域の、たまり場という言葉が先ほどもどこかで出ていましたけれども、たまり場の一つとして公園もあるんだと。だから、学校もたまり場になったり、先ほど話があったお茶を飲むたまり場もあったり、いろんなたまり場が地域のあちこちにあると思うんですけれども、そういうたまり場の一つとして、やはり公園の活用ということでは大きな武器になるのかなと。

公園を公園だけの利用で活用して、そのアイデアを出そうという、それはなくもないけれども、地域としては、僕は前からよく言うんですけれども、中学校区とかそういう区の中で、地域にある施設とか拠点をもっと上手に活用するプログラムを地域全体で考える。公園だけを考えるのではなくて、地域のいろんな拠点を、上手なサロンというか、人のたまり場として考えていくというような考え方が大事なんじゃないかなと思います。そういう中で、公園も極めたら、僕はすばらしいなと思っています。

永野委員長 ありがとうございます。

ほかはよろしいですか。佐藤さん、何か一言。

佐藤委員 私のような中間世代というんですか、子育てもある程度終わって、子どもが大きくなると本当に公園に行くことがなくて、公園・地域づくり部会に入ってからやっぱり仕事で忙しくてなかなか公園に行けないという現状があって、前回、コーディネーターを入れたり掲示板を設置という話が出て、公園を通ったときにぱっと見て参加したいとか、楽しいという企画があったら、私たち中間世代も参加できるんじゃないかと思ったんです。

その後、ここのところ仕事と家庭の往復ばかりで、私は今、地域に目がなかなか向かない世代なんですけれども、そういう人が本当に地域に目を向けるにはどうしたらいいかということのをきょうの本会議までずっと1カ月ぐらい考えていたんですが、やっぱり地域に目が向かないことが多いので、そのほかにも大きな企画として、区役所の市政だよりとかを通して、大き目の公園で親子でコミュニケーションをとれるような企画をすると、また今度は小さい公園にも目が向いてくるのかなということを感じています。

次回のときにこれを言おうかなとは思っていたんですけれども、今、皆さん大勢の方のご意見が聞けるので、ちょっと発言しました。

永野委員長 ありがとうございます。

まとめ的なイメージになりますけれども、資料2-1の一番下に具体的な課題解決策(イメージ)と書いてありますが、こういったことに集約してくると思います。

まず1つは、公園利用者自身がルールづくりに参加できる仕組みといったものが重要だということ。地域で合意しながら公園のルールを決めていこうということ。それから、公園内へ掲示板の設置です。今もなかなか地域の公園に行く余裕がないということで、この公園でどんな企画がされているとか、まちの情報だとか、そういったものを公園から情報発信できるような掲示板をぜひつくっていったらいいんじゃないかということ。

それから、維持管理。今は維持管理だけの組織がたくさんありますけれども、そうではなくて企画を行う組織、地域のたまり場としての催し物とかいろんなことの企画を行うような組織へ既存の組織が変わって行ってほしいなということ。

そして、公園からまちづくりの必要性のアピール、地域の拠点という意味で、まちづくりへの活用といったことが今後課題解決のイメージとして出てきているかと思えます。

そのほかはよろしいですか。

それでは、きょう出させていただきました意見、議論をまた次回の専門部会の中でも深めていただいて、継続していただきたいと思えます。

## イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

永野委員長 次に、宮前区の宝さがし部会から報告をお願いいたします。高木部会長、よろしくをお願いいたします。

高木委員 こんばんは。この部会は8月の区民会議以降、9月と10月にそれぞれ1回ずつ、2回行ってまいりました。

まず、資料3-3を見ていただきたいんですけども、A3の一番でかいやつです。この中で特に左側、まずこれを念頭にということがあるんですけども、1つは宮前区の宝・顔に関する現状と取組ということです。この下に、目に見える宝物のほかに見えないもの、いわゆる無形のものとして、郷土、風土に沿った文化といったものが宝にもなるかなということ。それと、宮前区に持っているイメージですけども、この中で特に多いのは、2番目の「とくにない」という意見です。この意見は7区の中で一番多いんです。また、下のほうになりますけれども、特に宮前区の場合は大きな幹線道路、東名高速道路が通っておりまして、向丘地区と宮前地区で文化とかの交流が今までないので、そういったところのイメージを持ちながら、9月に話し合っております。

その中では、現状、宮前区で発行されているいろんな資料を踏まえて、こういったものが宝物になり得るか、まず最初に資源の整理をしていこうということが9月の第3回の部会では話し合われています。そして、大きく4つから5つぐらいに宝物を分類して、議論ペーパーにしていく作業を始めようということになりました。

その中でもう一つは、もともとこの部会は宮前区の顔づくりを目指していますので、あるいは宝になることと実際に顔になることの意味合いは少し違ってくる可能性もあるかなということです。というのは、やっぱり顔にまで押し上げていくには、ある意味ブランドづくりが大事になっていくということと、先ほど公園のほうでもお話があったように、特に子どもたちも巻き込んでということをお話しておりますので、そういったことで単に資料をまとめていくだけの作業ではなくて、当然そこまでいく過程を楽しみたいということがありました。

これをもとしたのが資料3-2の左側になります。宮前区は、ご存じのように観光協会が去年できたぐらいですから、なかなかそういうことでは資源に目がいていない、宝物に目がいていないというところでは、7区で一番おくらしているのかなということもあります。ここでは、高津のももちゃんというのがあるんですけども、こういった分類とか、あるいは川崎区ではかなり早くに宝物の分類などをやっております。宮前区では、第4回の部会の資料を見ていただきたいんですけども、5項目に分けました。1つは自然、もう1つが歴史文化、3つ目は暮らし・産業、4つ目がふれあい・交流、イベント関係です。5つにまち・施設ということで、これは商店街を含めて、いわゆる建築物、スポーツセンターといった施設を含めたものです。

他の区と違って、先ほどお話ししたように、宮前区で楽しもうということがあるので、資源を楽しんでいこうという視点でとらえることで、3つの項目をつくりました。1つは「みたい(見・観)・ききたい(聞・聴)」、それと「買いたい・食べたい」、そして「やってみたい」。そういったくくりをつくっていこうかということで、まとまったものが資料3-2の右側になっています。こういったものをもとにして、最終的にどういった宝物がより輝いてくるものになるのか、それを押し上げたものが顔になっていくというのが真ん中にあるイメージ図になります。

まず、なかなか宮前区の方々は自分の地域の宝物がよくわからないということですので、こういった底辺のものをいろいろ探しながら、どんな宝があるのか調べていく。徐々にそれを絞り込んでいって、宮前区のイメージとかシンボルになっていくことになると思います。

この押し上げていく意見の中には、その下にあるように、もともとの宮前区を活性化させること、そしてお子さんたちも巻き込んでいこう、いわゆるそのプロセスを楽しむことが一番大事だということで、幾つかをそこに集中させているのだと思います。その中には、当然、区民と一緒にになってプロデュースしていく部分もある。そして、最後にそれをどういうふうに区以外のところにも広めるかということになってくるかと思います。それが多分今後の会議の中で議論されていくものになっていくと思います。

まとまったものが最後のほうに何枚か、表裏になっていますけれども、3-4という資料です。これは先ほど申し上げたように、今まで宮前区で発行されている、いろんな地域を紹介している冊子が3つか4つあるんですけども、そういったものをまとめてつくったものです。この中には、先ほど言った左側にある大分類が5つ、自然、歴史文化、産業、まち・施設の形でくくられています。そして中分類ということで、特に特徴としてどういうものがあるのか挙げています。これは既存の冊子から取り組んでいるので、当然、地域に帰ればもっと細かいものが出てくると思いますけれども、あくまで宝物を探してもらおう一つのガイドラインとして出してきたということです。

先ほど申し上げた楽しむ方法として、五感に関係するということで特に3つのもの、「みたい・ききたい」「買いたい・食べたい」「やってみたい」を挙げています。当然重なってくるものもあるんですけども、こういったことでひとつ、これをたたき台にして、今度、これ以降の部会でももう少し地域に根差したものとしてやっていこうということです。

恐らく、多分この先にはいろいろこれを使ってアンケートをとったり、あるいは地域で、小学校区あたりを念頭に置いていますけれども、そういったところで子どもさんたちにも参加してもらって、地域の宝物をより身近なもので探してもらおうといっ

た動き方になっていくのではないかと思います。

永野委員長 ありがとうございます。宮前区の宝物探し、宮前区の顔というところまで押し上げていく方法、その手順といったものを中心に発表していただきました。

何かご意見ございますでしょうか。

福本委員 先ほどの説明の中で、小学生、児童を巻き込んでいくということなんですけれども、実は、私ども、野川中学校区でもって決めたんですけれども、12月7日の日に、野川には野川かるたというかるたがあるんですよ。このかるたに従って、名所、旧跡 施設ですね、そういうものを全部回ろうということで、そうすると、学校としても、西野川小学校、それから野川小学校、南野川小学校、この3つが同時に学校に集まって出発をする。それで各学校ごとに親子で参加すると。1校が60名、ですから3つの学校で180名。これが12月7日の日に学校を出発して、大体3時間程度のラリーを行うわけなんですけれども、それをかるたに従って、各3つの学校が学校に近いところのいろいろ施設を、名所、旧跡をめぐるとか、そういうふうにして今コースを決めております。それで、大体参加が180名。ですから、実際的には、かるたは48文字はないんですよ。48文字弱、四十何文字か、幾つか抜けているんですけれども、これは、おいおい足すと思うんですけれども、一応かるたにのっとって実施しますので、ひとつ参考までをお願いいたします。

永野委員長 ありがとうございます。3小学校を巻き込んで、野川かるたというまち歩きですね、それを行う。12月7日ということですね。

先ほど部会長の話にもありましたけれども、これを宮前のいろいろな資源、今分類作業をしていく。資源の性質別の5つの分類、それと楽しむという、それこそ宮前の区民一人一人のものにしていくための楽しむという視点で、3つの視点でこれから分類していこうということです。その作業を子どもたちなんかの参加を得ながらつくり出していきたいというのが今後の方針でございます。

鈴木(和)委員 皆様のお手元にあります観光協会のチラシが配布されております。今日初めて知った方もおられると思います。区役所も25年を昨年迎え、観光協会も発足いたしました。私は区民会議の中で「宝探し部会」に入り、数多く、埋もれている宮前区の宝を掘り出し、すでに縄文時代の遺跡見学会他郷土文化の発展にむけて観光事業を区民会議の行事活動に役立つ宮前区観光協会でありたいと思います。宮前区の宝を皆様から教えていただき発展していきたいと思います。

永野委員長 ありがとうございます。

田邊委員 ここにちょっと書いていないので、私の見違いかもわからないんですが、宮前区で、例えば区役所として区民祭であるとか、地域振興課ではみやまえフェスタであるとか、そういうような皆さんが集まる場というのは意外とあると思うんです。その名称とか何かはこの中に入っていないんですが、もしできるならば、イベントとい

うような形で載ってはいるんですが、区民祭であるとか、そういうような形の活用方法というのにも一考の中に入れておいていただいたほうがよろしいのかなとは思いますが。

佐藤委員 資料を拝見させていただいたんですけれども、この「みたい・ききたい」「買いたい・食べたい」「やってみたい」ですけれども、「やってみたい」が比較的少ないのかなというのを思ったんですね。

なぜそう思ったかという、ちょっと話がずれるんですけれども、一番最初に部会の説明に入る前にエコバッグづくりというのがちょっと説明があったと思うんですけれども、実は、これに親子で参加しまして、最初は何の気なしに申し込みをしたんですけれども、子どものほうがすごい喜びまして、本当に子どもというのはちょっとしたきっかけ一つで本当にすごい真剣になって、このバッグをつくったらすごく楽しいと言って、やっぱりお母さんと一緒につくるのは楽しいと言って。今度は発表になったら、東急に投票に行きたいと。自分のバッグがどういうふうに飾られているのを知りたいと。今度は見たら見たらで、やっぱり自分であちこちに電話をかけて、東急にね、今自分がつくったかばんがあるんだよというふうに、このバッグ一つにしても、本当に子どもというのはすごい純粋に受けとめて楽しむんですね。

見るとか食べるということはやっぱりその場で終わってしまうと思うんですけれども、実際に自分が動いてやってみるということはこんなにも心に残るんだなというのが、今回エコバッグに参加して思ったので、できればこの「やってみたい」というのがふえたらよいなと思って、今ちょっと発言させていただきました。

永野委員長 ちょっと部会長から補足させていただきます。

高木委員 先ほどの区民祭とかふれあいフェスタというのは、この活動という中のイベントとか市民活動といった中のイベントのほうに多分入るんだと思うんですけれども、このまとめは、まだまだ途中というか、あくまでたたき台の一つなので、これが今全部網羅しているということでは当然ないんですね。これをまた部会の中でも、もう少し、これはもうまるっきり、例えば小学校に持っていったとしても、このままではお子さんは恐らく全然わけもわからないし、どういったところをどういうふうにやるのかと先生もわからないですから、その辺の使い方を、今後、多分部会のほうで、どういうふうに活用して、先ほども申し上げたようにプロセスですね、このやり方を楽しんでもらいながら宝物を見つけてもらうということですから、そこにどういうふうに近づけるかというのは、多分部会の中で今後話し合われていくんだと思うんですけれども、ですから、これは、本当にまだまとまって、今回の区民会議に間に合わせるためにつくったものというふうにお考えいただければ一番よろしいんじゃないかと思えます。

永野委員長 この一つ一つの分類については、今後どんどんふやしていくと。そのふやし

方ですけども、できれば小学生なんかも巻き込みながらできたらいいなということを考えているということです。ただ、区民会議は区民会議として審議をする機関ですので、いわゆる活動をしていくところとの一線をどのように引いて、しかし、多くの区民の人に参加していただきながらこの区民会議の審議がやれたらいいなということ、ちょっとその辺は今後検討していきたいということでございます。

目代委員 もうとうに委員会の中では話が出ていると思うんですけども、やはり宮前区と言ったら花とか宮前メロンとか、そういう農協関係のいわゆる地元の方たちの文化と、あと転入してきた方たちの文化というんですか、それがやはりあると思うんですね。転入されてきた方たちにとってみれば、そういう宮前に以前から、昔からある花とか作物とか、ああいうものの情報というのは全然入っていないというのがすごいあると思うんですね。逆に転入世代の人たちが利用している施設とか、そういうことも逆に地元の人たちは知らないとか、そういうのがあって、私、今この資料を見ただけでも知らないこともたくさんあったし、何かそういうことを地域の人たちに知らせるだけでも、この宮前区に住んでいる人たちに知らせるだけでも大きな収穫だとは思っています。

私なんかは本当に地元のお嫁さんなものですから、いわゆるこの間の映画にありました小倉さんがつくられた「オオカミの護符」とか、あの世界のお嫁さんなものですから、大山講とかああいうのにどっぷりつかっているんですね。でも、そういうことを話す機会が全くない。新しく転入された方たちにも全然そういうことをお知らせすることもできなくて、何か宮前にはこういうことがあるんだということを住んでいる人たちが全く理解していないし、知らないという、その広報の部分で、これから観光協会とかができてもっと活動されると広がると思いますけれども、そういうふうに地域の人たち、宮前区民がもっと自分のところを知るとというのが非常に大切だなと今感じました。

永野委員長 そうですね。区民会議の結論が宮前の顔はこれだよということを決めるということじゃなくて、それを決めていくプロセス、それを区民会議としてどう提案していくかと、そういうことだろうと思います。ですから、この資源探しももう少し区民の皆さん、いろんな人の意見をどういうふうにしたら拾い集められるか、そしてそれを宮前の顔として押し上げていく、その作業をどのようにしていったらいいかという提案をしていく。それが区民会議の、この部会の提案作業かなというふうに思っております。

ほかにご意見ございませんか。いろんなことが考えられると思いますので。松井さん、お願いします。

松井委員 それでは、きょうは向丘出張所に来ているということで、特に向丘地区を、向丘地区の自治会の会長さんもお見えですし、実際に地域でやっていることも今の宝物



さがしというようなことに通じているのかなというふうに思いますので、簡単にちょっとお話ししたいと思います。

先ほど野川でかるたが出ましたが、大変すばらしいことだと思います。この地域の小学校の生徒さんたちと一緒に地域を歩くということは、大変すばらしいことだなというふうに思います。

我々も、この向丘地区では平瀬川という川が、都市河川でコンクリート2面張りの本当に放水路と化した川なんですけれども、これの蔵敷地区のほうでは多自然型に提案してできたりして、湧き水広場ができたり、魚道ができたり、それから湾処ができたり、そういうのを地域の力で少しずつ、行政が大きなお金を動かしていただいているんですが、その土台に当たっては、地域の町会・自治会、商店会、それから学校関係ですね、こういったところとタイアップをしながら、先ほどの野川さんのお話と同じように、子どもたちと一緒にごみ拾いから始まって、汚い川だったのをきれいにしようというようなことで、大変きれいになって、最近ではカワセミとかアユも泳ぐようになっていたりしております。きょうもこちらにたくさん区民会議に委員さんがおりますけれども、渡辺さんとか吉岡さんも仲間ですし、高木さんとか佐藤さんとか、大勢そういう方が向丘地区ではいらっしゃいます。そういったことが、これは宝物のすべてではないんですけれども、こういうものを使って地域のコミュニティづくりになったり、そしてまた、川がきれいになることによって皆さんの潤いが出てきたり、または地域のまとまりが出てきたりということで、この地域の自治会を中心とするこの地域のまとまりがそういう力を生んでいるのかなと思います。

これは、僕は大きな宝物とか資源で、顔になるということまで行くと、押し上げるというとなかなか難しいところがあるんですが、でも、本当に地球環境の今エコというようなことを考えた場合に、身近な緑とか川とか、こういったことがすごく大事で、そういったところから大きくグローバルには地球を見詰めるというようなことも発展するのではないかなと。そんなことをこの向丘地区はやっておりますので、野川さんもかるたでということですが、平瀬川の場合、最初につくったのがマップ、小学校の先生方と一緒に、地域の人と1万枚のマップをつくったところからスタートして、そういうことがずっと継続されております。

そんなことで、そういうものも宝物の1つということにしていければなというふうに思いますし、そのほかにまだまだ地域にはたくさんそういう宝物を、宮前区全体で見ようというと、ちょっと大きなところのものしか目につかないんですけれども、僕は前から、先ほども言いましたように、学校区ごとにそういうものを探すと意外ともっともっとたくさんあるんじゃないかなと。そういうのを地域の大勢にできるだけ探してもらいたいなというふうに思うんですね。

そういうことではもう一つ、グリーンフォーラムというようなことで、緑関係で、

今宮前区でネットワークしようということで始まっていますが、これも中学校区ごとの緑の状況、都市農業、それから生産緑地、街路樹、そして水と緑、公園緑地ですね、公共緑地、そんなものがどういう状況になったかを見ながら、中学校区ごとにそれをどうもっと磨き上げるかとか、それから、それをどうつないでいくかとか、どう守っていくかというような作業も1つ始まっております。それには、きょうもこちらにおられますが、佐藤さんとか河井さんとか、それから高木さんとかいられますが、そんなことも宝物の1つの探し方ではないかなというふうに思いますので、お知らせしておきます。ありがとうございました。

永野委員長 ありがとうございます。関連した はい、河井さんお願いします。

河井委員 グリーンフォーラム21のほうでも松井さんとか皆さんと活動しておりますけれども、先ほどの続きなんですけれども、この宝物の資料の中に入っていないのに、先ほど出ました市民活動が非常に盛んであるということが載っていないと思うんですね。市民活動はいろんなイベントですとかお祭りですとか、そういったことも非常に宮前区は市民が自主的にやっていることで、盛んなんじゃないかと思います。

今活動していますグリーンフォーラム21のほうでは、宮前のみどりもわかるガーデニング講座というのを始めまして、第1回が11月に始まりまして、12月、1月、2月、3月と5回のシリーズ、単発で参加できるんですけれども、そういったことをしております。なぜ、そういうことをしようかと思ったのは、みどりの団体が協力し合ってグリーンフォーラムをやっているんですけれども、そういった活動をぜひ大勢の方がそれをきっかけにして楽しんでもらうことを通して宮前にいろんな活動があるということを知ってもらえたらなと思って企画しております。

12月には宮崎コミュニティガーデンというところで、ここは公園ではなく、道路予定地を利用してやっているところで、ちょっと先ほどの公園の話に戻ってしまって申しわけないんですけれども、先ほど発言すればよかったんですが、まさにそこではいろんなことを企画して、お芋も焼きますし、イベントもしますし、農作物はつくってはいけないんですけれども、ハーブとかを栽培して、それを利用してお茶を飲んだりとか、そういった企画をするようなところなんです。公園でもそういうことができたらいいいんでしょうけれども、なかなか現状ではしていないんじゃないかと思います。ただ、そのコミュニティガーデンは公園ではないので、週に1回しかできないんですね。管理するのが、公園事務所が管理してくれるわけではないので、活動する日以外はかぎをかけて、安全上閉めているということが欠点ですし、あと、公園ではないので水がないという欠点はありますけれども、公園をこれからそういう企画をしたり楽しい場所にするということでは、コミュニティガーデンというのは非常に参考になる場所ではないかと思いますので、もし、そういった企画をしたいのであれば、ぜひ見学にでも来ていただければと思っております。

永野委員長 ありがとうございます。コミュニティガーデンという、いわゆるコミュニティを1つの宮前の顔というようなことがあります。公園の部会ともつながってくるかなというふうに思います。

宇賀神さん、そういった意味で公園だとか、それから宝だとか、そういったことで地域から何かございませんか。

宇賀神委員 地域のほうから言いますと、うちの自治会の中にも3つ公園がございます。本当に小さな公園なんですね。今言われたような仕掛けももちろん必要なんでしょうけれども、公園の中には、その公園の性質というのがあるって、ここはそんなに積極的な公園でなくてもいい、生活の中の一部であってもいいような公園というのは当然出てくると思うので、その辺の使い分けを何かお示しできるといいかなというような気がしています。本当にひっそりとある公園というのにも必要なのかなというような気がしております。

それと、ちょっと話が違ってしまっただけで宝物のほうに参りますと、本当にこれだけいっぱい宝物がありまして、ちょっと部会長に聞きたいんですけども、これはどうやってまとめていくのかなという。どれも全部大切なもので、全部後世に伝えていかなくちゃいけないものだと思うんですけども、これを宝物、そして顔と押し上げていく、具体的なプロセスというのはこれからなんだろうけれども、何かぼんやりとその手法に対してお考えがあればちょっと聞かせていただけないかなというように思っております。

高木委員 かなり難しいお話ですね。特に部会長が全部やっていくわけではございませんので、その点はお間違えないように。あくまで皆さんと一緒に考えていくことですから。

恐らく宝というの、例えば子どもさんが目にする宝物とか、あるいはお年を召された方の宝物。実際、そういったことで、ある意味年代とか、そういった地域層でかなり拳がってくる宝というのは全部違うんだと思うんです。文化について言えば、また、前もちょっとお話ししたように、向丘と宮前はかなり違うところもあるので、そういったところをではどうしていくかというのが多分一番大事だということだと思うんですけども、恐らく、拳がってくるものは全部違うんですけども、話し合っていく中で、大事なものの序列というか、順番というか、押し上げられてくるものというのが恐らく出てくるんだと思うんです。それがないと、多分、顔は絶対出てくることはないです。

ただ、区民会議というのは、そういったところのプロセスの作り方を提案していくという、行政サイドに、こういうふうにしてほしいとか、こういうふうなものをぜひイベントでやってほしいとかというのが、多分この会議から提案されるものであって、恐らく、顔をつくっていくのは、区民の皆さんだと思うので、この会議

では、その区民にいかにそこに目をやってもらって活性化していく。本当にそれを盛り上げていってもらうための方策として区民会議が提案できればいいんだなということで、この部会では、じゃ、どこがどういうふうに顔になっていくかというのを本当にまだ私も全然わからないし、例えば、自分なんかの頭の中では、最近ですとゆるキャラとかということで、ゆるいキャラクターとか、当然、7区でも区が持ったマスコットというのはまだないんですね。そういったことでは、宮前区で最初にできる可能性もあるし、そういうものができて、宮前区の顔を紹介していくような、そういったものが立ち上がってくるとおもしろいのかなと思うし、その辺も子どもさんを含めて、そういった提案が出てくればよりいい活性化になるんじゃないかなというふうに思います。区の親善大使というの、たしか7区ではまだないと思うので、そういったところでは、区の親善大使みたいなものもできたらいいのかなというのがあるし、そういうようなことは、部会長としては頭の中ではありませんけれども、そういったものにできるかどうかというのは、まだまだこれからの話だと思いますので、宇賀神さんもぜひひとつよろしく願いいたします。

佐藤委員 1つ提案というかお願いなんですけれども、松井さんのほうでよく中学校区、中学校区とお話をいただいているんですけれども、私もまさにそれが大切だなというのは思うんですね。本当に学区が、隣近所が顔が見えるという点もいいんですけれども、私事になるんですけれども、夏に同窓会を開いたんですけれども、中学校の同窓会だったんですけれども、そうすると、子どもころどこで遊んだとか、こんなところで遊んで楽しかったとか、参加できない人でも、どここのスーパーはまだあるのとか、商店街のことを気にしていたりするんですね。

この年になって忙しい日々なんですけれども、やっぱり子どもころの思い出となるとすごい楽しい気持ちになって、どこどこでザリガニをとったとか、オタマジャクシをとったとかというときは子どものような気持ちに返れて、すごい楽しい時間が過ごせるので、やっぱりそうすると中学校区内に1個でも2個でも、そういう大人になったときでも、郷土愛が、私は宮前区がすごく好きなんですけれども、そういうものが持てるような宝が中学校区にあることと、あと宮前区全体では、また大きなものもいいと思うんですけれども、本当に子どもころを思い出したり、子どもころその地域が楽しいと大人になっても郷土愛というのは続くと思うので、やっぱり両方、二本立てというんですか、2つ考えていただけたらと思います。

永野委員長 ありがとうございます。

あと、宝さがし部会で千葉さん何か。

千葉委員 宮前区の地域情報サイト「宮前ぼーたろう」の運営にかかわっておりますフューチャリンクネットワークの千葉と申します。

私どもでは、インターネットで情報発信をするというのが仕事なんですけれども、

宝さがし部会にかかわって、ことし太鼓ミーティングとか区民祭、あと、この間、観光協会のウォーキングイベントにも参加したんですけれども、ちょっと私は外から来た人間なんですけれども、特に太鼓ミーティングなどは、大物ゲストが参加されて、演奏もすごい迫力で、こんなにおもしろいイベントがあるのかと、ちょっとびっくりしたんですね。多分、それは区内では10年続いて盛り上がっていると思うんですけれども、まだまだ知らない人というのもあると思いますし、実際、今まで会議で話されてきて、いろんな宝は出てきたんですけども、やっぱりまだまだすべての区民が知っているという状況ではないと思うんですね。

それで、やっぱり情報発信というのが特に大切だと思います。例えば、うちの「宮前ぼーたろう」でできることといえば、ちょっと今リニューアル中で12月3日から新しい仕組みになるんですけれども、地図上で、宮前区内の地図があって、地図のこのポイントでイベントがありますとか、ここに公園がありますとか、遺跡がありますという、地図でおもしろいスポットであったりイベントを紹介したりできる仕組みがあるんですね。

ちょっとさっきの公園のところで話しそびれてしまったんですけれども、公園情報というコーナーがありまして、トップページから入れるんですけれども、そこで、それぞれの宮前区内の公園、まだ全部は書き込まれていないんですけれども、野川台公園だとか、それぞれの公園の紹介というのを見た人が自由に書き込めるというふうになっていまして、さっき佐藤さんからお話があったと思うんですけれども、公園の掲示板ができてなかなか最近公園に行く機会がないと。結構そういう方は多いと思いますので、家にいてもネットで公園の情報が得られるというところは大いに利用していただきたいと思いますので、ちょっと公園の話に戻ってしまったんですけれども、「宮前ぼーたろう」は宮前区のホームページからも入れますので、ぜひごらんになっていただければと思います。次回以降で、公園部会のほうでもちょっと提案ができればなと思いますので、よろしくお願いします。

永野委員長 ありがとうございます。

吉岡さん、何か宝でも公園でも結構ですが、ございませんか。

吉岡委員 のどが、声が出ないんですよ。

永野委員長 それでは吉田さん、お願いします。老人会いろいろやられているんで、宝も公園も両方あると思います。

吉田委員 せっかくこうして皆さん、新しいいろんなことの議論をされている、ちょっと申しわけないんですけれども、私は具体的に土橋町内会で何年もやりまして、また宮前区の老人クラブのほうでも現在やっておるんですけれども、そういう立場からちょっと申し上げますと、例えば土橋のことになりますと、具体的なことであれなんですけれども、町内会で夏に盆踊りをやっております。これは毎年約2000名からの、お子

さんを中心に若い方も出てくるし、高齢者も出てきていますし、本当に多世代の世代が集まって、盆踊りを盛大に、これは毎年2000名ぐらい集まってやっています。だから、そういうようなこととか、土橋2丁目公園でやっていますが、そのほかに、子ども会主催でもってもちつき大会というのもやっています。これも、そこでモチ米をふかしておもちをついています。それから、防災訓練では、大きななべで豚汁をつくりまして、そこで火をたいて。そんなこともやっています。

ですから、公園のほうの立場からすると、具体的にそういう利用の仕方としては、具体的に現にもうちょっと活動しているような面からしますと、改めてこういうことを議論するのもいいんですけども、既存の、今までやっているようなこともちょっとよく見直して、そういうところも参考にしてもらえたらと思っています。

それからもう1つ、今度は老人クラブのほうなんですけれども、これも、毎年演芸大会というのをあそこの市民館でやっていますけれども、これは参加者が800名から900名、毎年盛大に演芸大会をやる。それから趣味の作品展をギャラリーでやっていますが、これも1週間を通して約1000名以上の方がご来客で、我々の活動として、いろんな趣味の手芸品の作品とか、絵画で参加して、そういうことでそれなりにPR、あと運動会もやっています。これも毎年約800名から900名参加しています。そういうことで、既存のこういう組織をもっとPRしてもらえれば、具体的にもっともっとういうことが広がっていくのではないかなと、私から言いますと、そんなことをちょっと感じております。

永野委員長 各いろんな団体、それから大きな公園、小さな公園、具体的には活動もされているということで、そういったことを公園の専門部会、それから宝さがしの部会でももう一度整理し直してやっていただければと思います。

そのほか何かございますか。よろしいですか。

それでは時間も経過していますので、きょう話に出たことは、各専門部会でまた議論していただいて、次回の区民会議の中で意見を報告していただければというふうに思います。

それでは、次に、議事の(3)に移りたいと思います。

### (3)区民会議フォーラムについて

永野委員長 区民会議フォーラムについてでございます。今年度も区民会議フォーラムを開催することについて決定していますけれども、その開催時期とか実施内容、方向性などについて、企画部会で意見が出ましたので、報告をしたいと思います。企画部会は私が部会長でございますけれども、進行役でございますので、川西副委員長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

川西副委員長 今、議長がご紹介されましたように、区民会議フォーラムというのは、年

度末に1回ずつ過去に2回行われています。過去に2回のフォーラムの仕立てというのは大体同じような感じなんです。

きょう、ちょっとお手元に資料がなくて申しわけないんですけども、今までの区民会議は1年で課題を解決する方策を区長に提案するというような流れで来ていましたので、今までの2回は大体同じような、これから申し上げる次第のような形になっています。

まず主催者あいさつということで議長がごあいさつされ、その後、区長のごあいさつがあります。その後、区民会議から区長へそれぞれの部会からの提言内容の報告ということで、各部長がそれぞれ報告します。

その後は、今度は区長のほうから区民会議の提案に対して、取り組みの方向性の説明がある。1回目の大下区長のときには、まだ区民会議そのものが始まったばかりでしたから、この区民会議というようなご説明も詳しくいただきましたし、2回目の去年はかなり行政の方たちに私たちの提案が日常的に施策として組み込まれていくような形になりつつありましたので、そこら辺のお話をいただきました。

その後は、第1回目は区民会議委員と区長と来場者も含めてディスカッション、パネルディスカッション的なことになります。去年の場合も、小林委員長とそれから部長が来場者とディスカッションをして、その後、1回目はもうそれで一応終わったんですけども、去年の場合は防災の講演会というのをあわせてやりました。これは、危機管理室のほうから来ていただいた講師の方にお話をちょうだいして閉会という、大体2年間は、1年間かけて私たちが提言した経過報告とその中身についての報告、それに対して区長のほうから取り組みの説明、あとはディスカッションという、こういう流れで来たんです。

ところが、ことは、先日企画会議がありまして、そこで話をしたんですが、今回は2年をかけて1つの課題に対しての解決策をご提案するという形になっていますので、今度の、来年の年度末に立ち上げようとしている区民会議フォーラムは途中の報告会というような形になります。ですから、少し趣向を変えたらどうだろうかというのが1つ。それからもう1つは、今回のテーマが、1つは公園という非常に身近なテーマになっていますし、もう1つ宝さがし、あるいは顔づくりというのも、どちらにしてもわくわくするような、とても皆さんになじみやすいテーマになっているので、もっともってご来場者の皆さんと、区民の皆さんと私たちの提案、まだ途中の検討ではありますけれども、皆さんからご意見をちょうだいするような会にしたらどうだろう。多分、区民の皆さんの非常に身近なところでいろいろ思っていることを私たちは示唆していただいて、そこからまた次の1年間をかけて提言につなげていくということもできるのではないかと、この2つの視点から、今までのスタイルとは変えてみましょうというような話になりました。

きょう、実は皆さんのお手元にもかわさき市民アンケートの概要版があると思います。そちらの5ページをお開きください。

区民会議について、これは全市でアンケートをとった概略だと思いましたが、下の段、区民会議の認知状況、これは「あることは知っている」というのはほかの区と同じくらいですが、「内容まで知っている」が0.5%ということで、これは最下位ですよ。今まで2回やった、来てくださった区民の方とのディスカッションも、言ってみれば仲間内というか、見た顔ばかりというような感じで、やはり低調なんですね。ですから、もう少し、今度のフォーラムに関しては事前PRをするということも大事なことです。来場していただいた区民の方と分科会を設けてワークショップをやったらどうかという話も出ています。ちょっとまだこういう資料にするまで固まっておられませんので、先日出ました企画会議で、少し出たアイデアをご紹介します。

型どおり主催者あいさつ、区長あいさつがありまして、その後、今期やっている2部会から簡単な経過報告があった後、事例発表をいただく。例えば、きょうの会議でも野川のかるたの話が出ました。例えば、宝さがしのほうでしたら、野川のかるたが出ましたし、先ほど来はガーデニングのお話もいただきました。コミュニティガーデンですね。それからあと、平瀬川のお話も出ましたので、そういうような事例、もう取り組んでいらっしゃる事例もあると思います。

公園に関しても、先ほど町会とか老人会のご報告がありましたけれども、既に子ども会とかいろんな活発な活動もされているところもありますので、そういう事例を幾つか発表していただいて、その後、区民の皆さんからご意見ちょうだい会というようなアイデア会、いただく分科会というワークショップの会にして、例えば公園部会のほうだと、市民が自発的に自分のエリアの公園をどうしましょう、楽しい公園にするためにはどういうふうな呼びかけをして、どんな人たちを集めて、どういう企画がそこでなされるようになったら楽しいだろうかみたいな。これは今本当に仮のものですけれども、ちょっとみんなでそれを考えてみようみたいな、何かそういうワークショップをすとか、あるいはその宝さがしのほうだと、宝さがし部会で、区民の方々にいずれアンケートをおとりになりたいという意向があるというふうに伺いましたので、そこら辺のアンケートをもとに、あなたが考える押し上げポイントとか、きょういろいろ出たと思いますので、何かしらそういうのを私たち委員と皆さんとで一緒に考えていく。そういうふうにみんなでというのを、ちょっと小さい会ではありますけれども、そこで少しできるといいかなというふうなアイデアが出ております。

今申し上げたような、少し今までとは違うスタイルの方向性のご確認というか、それに対してのご意見と、一応日にちを3月15日の日曜日の午後を仮の案で出しておりますので、この2つに関して、きょうはぜひ皆さんのご意見をちょうだいしたいと思います。お願いします。



永野委員長 ありがとうございます。区民会議フォーラムですけれども、去年までは一方的な報告という感じが多かったんですけれども、ことしは専門部会のテーマとも絡んで、参加者に参加していただいて、参加者と一緒に考えていこうというようなことを今念頭に置いております。

それともう1つ日程ですけれども、3月15日日曜日の午後を予定しております。内容については、皆さんからちょっとご意見をいろいろいただきたいんですが、何かご提案とかご意見ございますでしょうか。

河井委員 この間、宮前平中学校のほうの文化祭にグリーンフォーラム21とか、私が活動しているガーデニングクラブとかが参加したんですが、ぜひ中学生の、もうかなりしっかりした意見を持っているお子さんたちもいますので、小学生だとちょっと難しいかと思しますので、中学校に早目にこういう区民フォーラムがあるんだということをお知らせして、ぜひ参加してもらえたらなと思います。

宮前平中学校のほうも、おとしまでは普通の文化祭をやっていたんですが、去年から、区で活動するいろいろな地域の人たちにぜひ参加してほしいということでスタイルを変えたんですね。でも、去年はどこも参加してくださるところがなくて、ことしは宮前区役所のほうの地域振興課に相談をして、私たちガーデニングクラブ関係5団体、あともう2団体ぐらい参加して、中学校としては非常にすばらしい文化祭ができたということを聞いておりますので、その中で触れ合った子どもたちも非常に地域のことを知りたいという意欲がありましたので、こういう区民フォーラムにも各中学校区から代表を送ってもらえたらなと思います。

学校の先生方が思いがけず地域のことを非常に知らなくて、余談ですけれども、区の花も区の木も校長先生はご存じなくて、先生方にももうちょっと宮前区のことを知ってもらえたらなと思いますので、3月15日はまだ春休みにはなっていないので、先生方も来てもらえたらありがたいなと思います。

永野委員長 中学生を巻き込んでというご意見でした。

ほかにございませんか。

それでは内容についてはもう少し企画部会を中心として練らせていただきたいと思えます。開催日についてですけれども、3月15日日曜日の午後ということで、これはどうでしょうか。よろしいでしょうか。よろしければここで承認をしていただいて、日程だけを決定したいと思います。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

永野委員長 それでは3月15日の日曜日の午後を開催ということで、内容については今後もう少し煮詰めていきたいというふうに思います。

それでは、もう1つありますね。2月に今まで宮前区の区民フォーラム 区民会議フォーラムじゃなくて区民フォーラムというのがやられていました。それが今年度は

宮前区のまちづくり協議会に委託されてやることになっています。それが2月21日です。今内容がまだ煮詰まっていないんですね。検討中です。そこで、この区民フォーラムのテーマが宮前区を知ろうというテーマなんですね。区民みんなで宮前区を知ろうと。ちょっと松井さん、補足してお願いします。

松井委員 まちづくり協議会の理事長をしております松井でございます。

今お話がありましたように、2月21日に区民フォーラムを行います。そのときにちょっと話がありました宮前区を知ろうということで、東急電鉄の方に来ていただいて、ちょっとこの開発の歴史を聞いたり、それから宮前区のフォトコンテストをまちづくり協議会でもう2年ほどやって、ことしも3年目で募集しているんですが、フォトコンテストの審査委員長を2年間やっていただきました小池さんという写真家がいるんですね。川崎市でも賞をいただいているすばらしい写真家です。その方が、写真家の目を見た宮前区ということで、もともと地元の人ですから、開発の歴史についても詳しいし、宮前区のいいところも写真家の目としてわかるので、その人のお話も聞いたりということなんです。

私はコーディネーターをしなければいけないんですが、そういうところで、先日、広場の委員会の中で1つの提案をしたんですが、この区民フォーラムでやっている宝さがしとか公園部会の模様を逐一報告はできないんですが、その中の1つとして、こんなことをやっているの、これからそういうことにも皆さん関心を持って一緒にやりましょうよというようなメッセージをそのフォーラムの中で出せていければというふうに思っています。私、そういうことでは、この委員会の中から、ここから推薦していただくということが本来なのかもしれませんが、ちょうど、いつも気安く頼んじゃうということでは、高木さんちょっとやってよということで、そうしたら高木さん、いいんじゃないのということなので、まだまだ正式にはなっていないんですが、区民フォーラムの模様もちょっと話していただければ宣伝にもなって、3月15日にも人が大勢来ていただけるのかなというふうに思います。時間は十分とれないので、区民会議のことについて細かくは情報発信できませんが、ちょっとした案内をして、それで3月15日に皆さんに来ていただく、参加していただくというようなこともできたらいいなというふうに思います。

永野委員長 2月21日開催ということで、宮前区を知ろうという、ちょうど我々の宝さがし部会のテーマと同じようなことなので、その中で参加者を巻き込んだワークショップ形式になると思います。分科会の1つとして参加することになると思いますけれども、そこにもちょっと区民会議も一緒に協力して参加したいなというふうに思います。それはよろしいですか。

松井委員 なお、当日は、市民館で午前中それをやって、午後からは大会議室のブースをグリーンフォーラム21で借りて、1年間の活動の発表をいたします。それから、それ

以外に市民館、大ホール以外のところをみんな借り切っていますので、それぞれの4階とかの会議室でいろんなプログラムを立てております。まだ詳細は決まっていないんですが、ポスターもあったり、内容に、音のあれがあったり、食べるほうもあったりとか、多少、そういう幾つかの分科会が加わって、全体的に宮前区を知っていただく。それで市民活動に関心を持っていただくというような会でございますので、よろしく申し上げます。大体4時ぐらいまでですね。

永野委員長 内容については、これから、今後、まちづくり協議会と協議して詰めていきたいと思えます。できるだけ参加の方向で進めたいと思えますので、よろしく願いいたします。

それでは次に移りたいと思えます。

### 3 報 告

平成21年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決事業（案）について

永野委員長 平成21年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決事業（案）について事務局から説明をお願いいたします。

事務局（田邊） 資料の4をごらんいただきたいと思えます。こちらは平成21年度の、来年度の宮前区の協働推進事業計画（案）でございます。

この協働推進事業と申しますのは、区が主体となりまして、区民の皆様の参加と協働によりまして、地域の抱える課題を解決したりですとか、それから地域特性を生かしたような事業を展開していくものでございまして、7区一律で1区当たり5500万円という予算が割り当てられているところでございまして、来年度の21年度につきましても、宮前区といたしましては、30幾つかの事業展開を予定しているところでございまして、本来ですと、傍聴の方々にも詳しく一つ一つご説明さしあげたいところでございまして、時間の都合もございまして、この中から何点か特筆すべき事業等につきましてもご説明をさせていただきます、何かご意見等をいただければというふうに考えているところでございまして。

この資料4でございますけれども、項目といたしまして7項目ございまして、この7つの項目は川崎市の総合計画の基本政策にほぼ準じた形での分類という形になっております。事業名の左側に とか がついておりますが、これは が新規事業でございます。 が拡充事業ということで、無印が継続的な事業というような位置づけとなっております、事業名、それから事業内容、そして所管課というような構成になっているところでございまして。

まず初めに、1番目の安全で快適に暮らすまちづくりでございますけれども、こちらの中では、(3)子ども安全・安心見守り事業でございます。こちら、下に括弧で区民

会議課題というふうになっておりますけれども、特に区民会議からの提案を受けて大きく動き出した事業等につきましてはこのような表示をさせていただいているところでございます。こちらにつきましては、登下校時の子どもを犯罪から守り、地域の安全の確保といったところから、宮前区子ども安全・安心協議会（これは7区の中で宮前区が初めて立ち上げた協議会でございますけれども）の運営のほか、地域協議会等と連携しながら地域安全マップの作成、講演会の開催、情報共有を図るための通信を発行していくという事業でございます、こども支援室が所管しているものでございます。

また(5)でございますが、これは新規事業といたしまして、ねずみ、昆虫等駆除対策支援事業ということでございまして、衛生課が所管しておりますが、昨今、区民の皆様方からネズミとか害虫関係に関する問い合わせが非常に多うございます。そういったことで感染症予防の観点から、区民が感染媒介昆虫等の駆除、防除に心がけるようリーフレットを作成して普及啓発を図っていきたいというものでございまして、全市バージョンのものが10年以上前に作成されてはおりますが、そちらは余り写真とかが入っていないということでございまして、今回、宮前区では7区の中では初めて写真入りでこういったリーフレットをつくって行って、啓発をしていきたいと考えているものでございます。また、ホームページ等でも公開をしていく予定でございます。

続きまして、2番目、幸せな暮らしを共に支えるまちづくりでございますけれども、こちらにつきましては、高齢者の健康づくり支援事業ということでございまして、先ほどもご紹介いたしました、公園体操等が区内に広がりつつございます。そういった活動を広げる一助となるように体操マップ等を作成していくということでございまして、地域保健福祉課が、これは区民の皆様と作成委員会を立ち上げて作成するという予定でございます。

続きまして3番目、人を育て心を育むまちづくりでございますが、こちらにつきましては、主に子育て関連の事業が多く展開されるものでございます。特にごらんいただきますと、こども支援室という名称がかなり多く上がっております。こども支援室につきましては、ことしの4月に市の組織改正の中から、区における子ども支援の充実ということで設置されたものでございまして、その事業が年々拡充していくということがわかるかと思えます。

この中でも、特に目玉の事業が(4)でございます。こども包括支援事業でございます、南野川小学校の附属幼稚園の建物が現在空き教室状態になっているという状況でございます。この幼稚園の建物を利用いたしまして、いじめとか不登校の子どもの居場所づくりですとか、それから家庭相談員、教育相談員による出前相談のほか、子育てサロンの開催などの育児支援、それから自主サークルへの活動場所の提供などを行っていかうということで、平成21年度、とりあえず週3日ということなんでしょうござい

すけれども、NPOと連携をしながら0歳から18歳の子どもを対象に事業を展開していくというものでございまして、来年度の宮前区の目玉というふうに考えているものでございます。

また、その下の(5)親子ふれあい事業ということでございまして、思春期を持つ親を対象に子どもとのよりよい関係づくりのためのイベントということで、年4回程度スポーツ大会、料理教室、七夕会といったものを計画しているところでございます。

次のページに参りまして、4環境を守り自然と調和したまちづくりでございます。こちらにつきましては、東名インターチェンジ周辺整備推進事業ということでございまして、東名インターチェンジが川崎の自動車交通の北の玄関口としてふさわしい景観を維持できるようにということで、地域と連携をしながら花壇の維持管理等を促進していきたいという事業でございます。

それから、続きまして、5個性と魅力が輝くまちづくりでございます。こちらにつきましては、地域振興課が中心となりまして、主にイベントですね、音楽関係のイベント等々を多く展開するものでございまして、ご承知の方も多いとは思いますが、ロビーコンサートを初め、太鼓ミーティングですとか新春コンサート等々の事業実施を予定しているところでございます。

特に、この中で(5)の地域の魅力発信事業と(7)の友好都市交流事業につきましては、昨年設立されました観光協会との連携を強化しながら、今度は観光協会を中心に観光ガイドの育成ですとか、資源の発掘ですとか、それから友好都市との関係強化、交流を図っていきたいというふうに考えている事業でございます。

また(6)でございますが、これは ということで新規事業というふうになってございます。みやまえ映像コンクール支援事業でございます。こちらにつきましては、私も企画課が所管しておりますが、中学生を中心に、中学生に地域を知ってもらい、なじむ機会を確保するというので、現在、川崎市では「映像のまち かわさき」という事業を強く推進していることもございまして、市民活動団体が中学生を対象にまちを知るということでの映像コンクールを実施するというので、その支援を行っていくというものでございます。これは昨年から始まりまして、ことしで2回目を迎えるものでございますが、毎年毎年事業提案をいただいて審査をしてというような形をとっておりましたが、非常に好評を得ておりますので、これを定例化するというのでこのような事業をやっていくということでございます。

それから、続きまして6番目、参加と協働による市民自治のまちづくりでございますが、(1)、(2)のまちづくり推進事業、まちづくり支援事業につきましては、これはまちづくり協議会を中心とした事業展開を来年度も引き続き推し進めていくというものでございます。この組織につきましては中間支援組織を目指して活動していくということでございまして、地域の市民活動団体の支援等に取り組んでいくというもので

ございます。

それから、 がついております(5)宮前歴史ガイド作成事業でございますけれども、こちらにつきましては、前回、平成14年に作成されておりますが、それが古くなってまいりましたので、刷新いたしまして、新たに1万部作成していくというものでございます。

続きまして、次のページに参りますと、(7)でございます。地域情報発信事業ということでございまして、こちらも区民会議の課題として提案されたものでございますが、世代間・地域間交流の活性化のために宮前区内の地域スポーツやお祭りなどの情報をイベントカレンダーとして広く発信していこうというものでございまして、区のロビーを活用したり、ホームページ等を活用して、そういった情報を広く発信していきたいというものでございます。それは、またそれ以外にも、現在、区役所等からばらばらに送付されている町内会・自治会等の回覧物等につきましても、それを一元化いたしまして、できるだけ集約をして月1回一括して送付するといったようなことでの地域情報の効率的な発信を目指していくというものでございます。

それから、続きまして(8)でございます。地域の課題解決に向けた事業提案制度ということでございまして、こちらも企画課が所管しているものでございますが、地域の課題を地域みずからが解決していくことを目指しまして、例えば区民会議から提案された課題の解決とか、それからまた、日ごろ地域で活動されている皆様方、団体等から、その地域の課題解決のための提案等を適宜募集をいたしまして、それを区のほうで内容を審査させていただきまして、よろしいようなものにつきましては、委託とか事業補助といった形で支援等を行っていききたいというものでございます。こちらにつきましては、昨年までは時期を定めて募集をしてきたものでございますけれども、それを時期を定めることなく、適宜提案をしていただいて、随時、必要に応じてそれに対する委託、補助を行っていくということで、事業のスタイルを変えたものでございます。

それから7その他といたしまして、(2)緊急対応費ということでございまして、年度途中で緊急的な事業展開に備えるための予備費といったものも計上しているところでございます。

以上が区が主体となってやる協働推進事業の一部でございました。

それから、その下に、平成21年度宮前区・区の課題解決事業ということで2つほど掲載してございます。こちらは区と事業局、さらに区と事業局とそれから区民の皆様が協働して課題解決に当たるといった事業でございまして、例えばこの1の川崎の北の玄関口周辺の再構築は、先ほども花壇の管理等がございましたけれども、それ以外にも、玄関口の景観整備の中で、玄関周辺の看板の整備ですとか、それから平成23年度にオープンを予定しております藤子・F・不二雄ミュージアムを含めました生田緑

地までの統一的な看板サイン等の研究、検討、基本設計等をしていきたいというものでございます。

それから2番目、商店街と連携した地域コミュニティ促進事業でございますけれども、商店街の活性化と、さらに地域の課題解決という両面の意味をもちまして、商店街と連携しながら地域のたまり場の創出ですとか、それからまた、今年度はエコバッグコンテストをやりましたけれども、そういったイベントも展開していければと。さらには、その商店街の魅力を広く周知するためのマップづくり等にも取り組んでいければというふうに考えているところでございます。

永野委員長 ありがとうございます。宮前区の協働推進事業及び課題解決事業、この2つについてご説明いただきました。何かご意見ございますでしょうか。

この区民会議の課題という、それを取り上げていただいた事業も何点かございます。 よろしいですか。

#### 4 その他

永野委員長 それでは、議事のその他の議事でございますけれども、事務局からお願いいたします。

事務局（田邊） それでは、その他ということで、ご報告事項がございます。

まず初めに、区民会議委員の交代についてのお知らせでございます。宮前区のことも支援関係者連絡会からご推薦をいただきまして今まで区民会議委員として参画されておりました後藤ひとみ委員でございますが、ちょっとご家庭の事情もございまして、今月、11月末日をもちまして退任という運びになりました。その後任といたしまして、同じ宮前区子ども支援関係者連絡会のほうから久保浩子さんという方をご推薦いただきまして、12月1日から平成22年の3月31日まで委員として参画していただくということになりましたので、よろしくお願ひしたいと存じます。久保さんにつきましては、これまでは主に自主保育グループなどでの活動に携わってきたという方でございます。

それから、続きまして、お手元にお配りさせていただきました資料関係につきまして簡単にご紹介させていただきますが、まず初めに、区役所再編説明会の関係でございます。

お手元に区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針素案というカラー刷りの折り込み式のパンフレットを配布させていただいているかと思っておりますけれども、こちらにつきましては、宮前区におきましては、今週、11月21日金曜日18時30分から宮前区役所において開催いたします。また、向丘地区につきましては、12月10日水曜日の19時からこちら出張所のこの場所におきまして説明会を開催させていただく

ところでございます。内容につきましては、区役所・支所・出張所、行政サービスコーナー、連絡所等の再編と、それから市税事務所といった新たな構想等も出てくる部分がございますので、ぜひご参加をいただきまして、ご意見をいただければというふうに考えているところでございます。

それと、あと、お手元の資料でかわさき市民アンケートの概要版を配らせていただいておりますが、この内容につきましては先ほど川西副委員長のほうからご紹介がありまして、今回、区民会議が取り上げられておりますので、その辺もご参考にさせていただければというふうに考えているところでございます。

それから、すみません、先ほど申し忘れましたが、新しい委員の久保さんでございますけれども、一応部会の関係につきましても公園・地域づくり部会のほうに参加予定ということでご内諾をいただいているところでございますので、よろしく願いしたいと思います。

事務局からの連絡事項につきましては、もう1点、部会関係の開催日程がございました。

公園・地域づくり部会につきましては、12月9日火曜日18時から区役所4階第2会議室、また宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会につきましては12月16日火曜日18時から同じく区役所4階第2会議室で予定しておりますので、ご出席のほどよろしくお願いしたいと思います。

永野委員長 ありがとうございます。

残り時間があと七、八分になりましたけれども、せっかく参与の先生方にご出席いただいておりますので、簡単に一言ずつお願いいたしたいと思います。石川参与さん何か。

石川参与 きょうはどうも遅くなりましてすみませんでした。

いずれのテーマも宮前区のすばらしさの再発見ということだろうと思うんです。一緒に探してみたいと思いました。ありがとうございます。

太田参与 お疲れさまでございました。本当に皆さんが一生懸命公園のこと、そして宝さがしをしている。これは、再発見というのはやっぱり子どもたちにもすごくいい影響があるんじゃないかなと思っていますので、ぜひ子どもたちも巻き込んで頑張りたいと思います。

織田参与 どうもお疲れさまでした。

それで2点ほどありまして、1つが公園・地域づくり部会のほうのお話の中で、実際に公園をどういう形で活用していくかと、いろいろ議論が出てくると思うんですが、資料2-2にも、その利用方法は立場や世代によって利害が対立する場合があります。まさにそこが現実大きな問題となっております。例えば、少年野球が公園を使う、また少年サッカーが公園を使う、少女ソフトチームが公園を使う、そういう中でそれ



ぞれの利害はうまくできるんですが、結局、公園で何で野球をやっているのという苦情が公園事務所に入ると、いわゆる少年野球をやめざるを得ないとか、そういう非常に実態の利用に対して歯どめをかけるような、ある種心のないそういう市民がいるのもやっぱり実態でありますので、そこはもうぜひ皆さんでよくご議論をいただいて、やはりこの現実の実態に即したご対応をぜひお願いしたいなというのが1点です。

それから、もう1つが、こういうことを申し上げるのは大変恐縮なんですが、宝さがしのほうで、本当にご苦労さまです。こういう形で財産、宝を挙げていただいているんですが、まち・施設のところに天然温泉湯けむりの庄と、これがあるんですね。これは多分ご存じの方もあると思うんですが、何せこれは3万人の署名も集まって、この施設は困るんだと、そういうような大問題になったテーマでありまして、これについては、結局業者が私有地に何をつくってもいいじゃないかと、何で地域の住民と話さなきゃいけないんだと、そのようなことでそもそもぼたんのかけ違いがあつてということで大きな問題になったテーマでありますので、そのような経過があつたということもぜひ頭に入れていただいて、この施設の位置づけというものを考えていただきたいなと思います。

山田参与 どうもお疲れさまでございました。

私のほうからは、本当に身近なテーマでございました。その中で、やはりお宝にも出てまいりました、同じ問題、公園等、緑の問題もそうですが、やはりどうやって結びつけていくかということが今後の議論の中心になるのかなと思います。そこには子育てとかありますけれども、やっぱり一番関心のある内容なんかも含めていけるといいなというふうに思っております、やはり、1つはすべての世代、安らぎというようなことを1つのテーマにしていけることもあるのかなというふうに思いますし、伝統文化ということもあるでしょうし、その辺のことを考えていく上で、私も胸が膨らんでいくわけですが、しっかりとまた皆さんの意見を聞いて、また議会のほうにも結びつけていければなというふうに考えております。ありがとうございました。

佐々木参与 お疲れさまでした。

宮前区は、長く住んでいらっしゃる方と、あと編入をされてきた方と二通り、とても多くあると思うんですけれども、やはり編入世代の方たちが、今、親世代になっていきますよね。その子どもたちはここがふるさとになるということで、その公園にしても宝さがしにしても、少し長い目で考えられるといいなというふうにちょっと思っていて、話を伺っていました。

公園についても、私たちは、私は編入なんですけれども、子育てをしているときに公園を使っていたけれども、少し長い目で見たら、子どもたちはその公園がふるさとの公園になるわけですし、その一つ一つの宝というものもやっぱりちょっと長い目で子どもたちと同じ目線で探していけたらいいなと。宮前区を好きになる材料だという

ふうに思っておりますので、ともに探していきたいと思っております。お疲れさまでした。

永野委員長 ありがとうございます。きょういただきましたご意見は、また専門部会の中で使っていただきたい、議論していただきたいというふうに思います。

それでは、そろそろ時間も来ましたので、この辺で本日予定されました議事を終了させていただきたいと思っております。ここで進行を事務局に戻したいと思っております。長時間ありがとうございました。

司会（岩澤） 永野委員長、長時間にわたりましてお疲れさまでございました。また、委員の皆様におかれましても、活発なご討議をいただきまして、まことにありがとうございました。

それでは、最後になりますが、閉会に当たりまして、松下区長より一言ごあいさつを申し述べたいと思っております。よろしくお願いいたします。

区長 本日は第2回から3回目ということで、2回目のときは、かなり公園にしる、顔づくりにしる不安な部分があったんですが、きょう、資料等を見ますと、かなり深められているということを実感として感じました。

公園につきましても、先ほど来議論がありましたように、なかなか深いテーマであるし、難しい問題がいっぱいあるということで、端的なご意見をいただきました。顔のほうにつきましても、財産というのは本当は何なんだろうとか、地域の宝物というのは何なんだろうか。こうやってお話を聞いてみますと、やっぱり地域地域に対する愛着とか愛情とか、あるいはふるさと性とかというものに行き着いてくるのかなといったような感想をきょうのところは抱いておりますので、これからことしの分、あるいは来年の時間ということを考えて進めていっていただければと思います。今回、新たにフォーラムをするということで、違う形でやるということなんですが、やはりいいことだなと思います。区民会議とか区長とかでやるだけじゃなくて、参加した方が一緒に参加して、いろんな議論を発掘していくというのが大事なことでございますので、ぜひ進めていっていただければと思います。きょうはありがとうございました。

司会（岩澤） ありがとうございます。

それでは、これをもちまして第3回宮前区区民会議を閉会させていただきます。次回の予定としましては、年が明けまして2月上旬を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日はお帰りの際、皆様入場されました正面玄関は、行政端末機がございまして、時間の関係でそのセキュリティ確保のためにシャッターをもう閉めさせていただいております。ですので、申しわけございませんが、お帰りの際は階段をおりられて右側に非常口があるんですけれども、そちらのほうをあけてありますので、そちら

のほうからお帰りをいただきたいというふうに思います。本日はどうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。

午後 8 時30分閉会